

質問！DP って何ですか？

DP (Diploma Program : ディプロマ・プログラム)

国際バカロレアの DP は、16 歳～19 歳までを対象としており、所定のカリキュラムを 2 年間履修し、高校 3 年生 11 月の最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（「国際バカロレア資格」「IB 資格」「DP 資格」「フルディプロマ」などと呼ばれる）が取得可能なプログラムです。

DP のカリキュラムは、以下の 6 つのグループ（教科）と、「コア」と呼ばれる 3 つの必修要件から構成されています。

1 DP のカリキュラム

生徒は、6 つのグループから選択した 6 科目を 2 年間（本校では高 1 後期 11 月から高 3 後期 10 月まで）で学習します。

大学やその後の人生において必要となる専門分野の知識やスキルを、大学入学前の段階で準備しておく観点から、6 科目のうち、3～4 科目を上級レベル（HL：ハイヤーレベル、各 240 時間）、その他を標準レベル（SL：スタンダードレベル、各 150 時間）として学習します。

本校では、全員が共通して国語を HL、化学を SL で学びます。それ以外の科目では、地歴・外国語を HL で履修するパターンと、数学・物理を HL で履修するパターンに分かれます。

高知国際高校グローバル科 DP コースで設定されている科目	
Group 1 言語と文学（母国語）	文学 HL
Group 2 言語獲得（外国語）	英語 SL/HL
Group 3 個人と社会	歴史 SL/HL / 地理 SL/HL
Group 4 理科	化学 SL
Group 5 数学	数学 AI（応用と解釈）SL / 数学 AA（分析とアプローチ）HL
Group 6 芸術	音楽 SL/美術 SL / 物理 HL(Group 4 より)

さらに、カリキュラムの中核となる核（「コア」）として、3 つの必修要件を並行して履修します。Extended Essay (EE：課題論文)、Theory of Knowledge (TOK：知識の理論)、Creativity, Activity, & Service (CAS：創造性・活動・奉仕) の 3 科目が配置されています。このコア科目の存在は探究型学習と全人的教育を強調する国際バカロレア教育の大きな特徴といえます。

本校では TOK は「総合的な探究の時間」に行います。EE と CAS は課外で行います。

EE	TOK	CAS
履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、研究成果を 4,000 語（日本語の場合は 8,000 字）の論文にまとめる。	「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。最低 100 時間の学習が必要。	創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬での自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組む。少なくとも 18 か月の自主的かつ継続的な活動が必要。

2 DP の資格取得

DP 資格の取得には、DP カリキュラムを全て履修し、内部評価（学校内での試験やレポート提出）と外部評価（全世界共通の最終試験）を通じて、**45 点満点中、原則として 24 点以上を取得する必要があります**があります。

配点は、6 グループの各科目につき 7 点（計 42 点）。さらに、コア科目について、TOK と EE の評価結果の組み合わせに応じて最大 3 点が与えられます（CAS の取組は評価されるが得点化はされない）。

外部評価である国際バカロレアの最終試験は、年 2 回 5 月と 11 月に世界で一斉に実施されます。日本的一条校（学校教育法第 1 条に掲げられている学校）の場合は、原則として 3 年次の 11 月に実施され、翌年 1 月に最終スコアが通知されます。

最終試験の過去問題は、各 DP 教科担当や DPC（DP コーディネーター）が持っていますので興味のある人は申し出てください。印象としては、教科によって異なりますが、大学入試の小論文のような資料を読み取り自分の考えを記述する問題が 4～5 問ならんでいるといった感じです。

全世界平均点は 30 点前後で、ケンブリッジ大学入学には 40～42 点、オックスフォード大学では 38～40 点が入学の目安と言われています。

本校の生徒は、まず全員がこの試験で 24 点以上を取り、DP 資格を取得することが目標です。取得できれば、国内大学で国際バカロレア入試を取り入れている大学に活用できます。

3 日本語 DP

DP の授業や試験は、原則として、英語、フランス語又はスペイン語で行う必要がありますが、文部科学省と国際バカロレア機構が協力して、DP の一部の科目を日本語でも実施可能とするプログラムが開発されました（「日本語 DP」、「日本語デュアルランゲージディプロマプログラム：日本語 DLDP」などと呼ばれる）。

日本語 DP でも、6 科目中 2 科目（通常、グループ 2（外国語）に加えて更に 1 科目）は、英語等で履修することが必要です。

本校では、**グループ 2 の外国語と、グループ 5 の数学を、英語で授業**を行います。

外国語と数学の授業は英語ですが、それ以外の科目でも、洋書の教科書や副教材をたくさん読む場面があります。多くの日本語 DP の生徒は、その翻訳にも苦勞をしているそうです。

このため、DP コースでは特に高い英語運用能力（少なくとも英検 2 級以上が望ましい）が求められます。



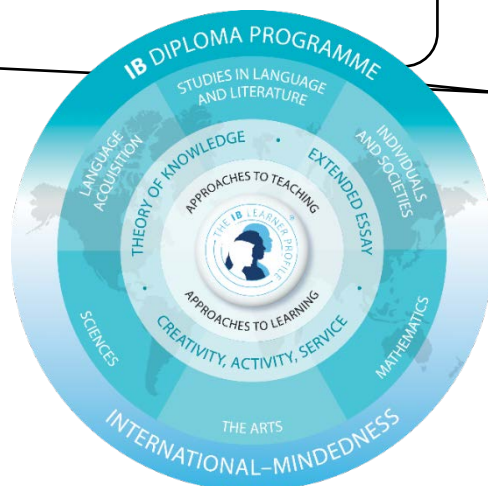
国際バカロレアロゴ

（これらのロゴは認定校のみが使用可能です。）

高知国際高校は令和 3 年 1 月に DP 認定校になりました。）



DP ロゴ



DP カリキュラムモデル (DP のイメージ図)

【参考】

- ・文部科学省 IB 教育推進コンソーシアムホームページ
- ・読売新聞教育ルネサンス「国際バカロレア」1（令和 2 年 1 月 30 日）